



損保ジャパン記念財団

# 福祉助成金を贈呈

## 関西地区から5団体出席

損害保険ジャパンが出す「2007年度社会福祉助成金贈呈式」を開催し、財団は8月29日、大阪市中央区の同社大阪ビルで、障害者・高齢者福祉団体など関西地区の助成先7団体中、5団体が出席した。同財団は1999年から、特定非営利活動法人(NPO法人)設立資金の助成を行っている。07年度は全国51



団体を支援している。内、関西地区は7団体で、助成金30万円が交付される。通知書交付に先立ち、岡田正関西総務部長が「皆さまが地域貢献されることを期待したい」とあいさつし、損保ジャパン記念財団の富沢泰夫事務局長が応募結果や選考内容などを説明した。助成先は次の通り(敬称略)  
▽大阪府 Handicapped community Cafe MILLO、自遊工房、知的障



ヤイルズ、ヒマワリホーム福祉作業所▽兵庫県 NPO法人なのはな設立準備会おぼんさい菜、木の根会家族会、運営委員会つながり

### 13. 日刊自動車新聞 (9/3)



損保ジャパン記念財団は、2007年度社会福祉助成金として、全国の51団体(うち関西地区7団体)の障害者・高齢者福祉団体などに対し、特定非営利活動法人(NPO法人)設立資金として各30万円、合計1530万円の助成を決定したが、そのうち大阪・兵庫地区の助成先への贈呈式を8月29日午後2時から損保ジャパン・大阪

ビルで開催した。当日は、大阪3団体、兵庫2団体の代表者ら12名と、同財団の富沢泰夫事務局長、損保ジャパンの岡田正関西総務部長、損保ジャパン・関西助成金贈呈式開く



贈呈式での記念撮影

松田剛総務課長の3名が出席。富沢事務局長が今回の助成先選考の経緯などを説明し、それぞれの地域の福祉の向上のため、その推進役となつて力を

発揮されることを期待しています」と挨拶した。その後、各団体へ決定通知書が手渡され、代表者らが現在の活動内容や今後の抱負について語った。

### 14. 新日本保険新聞 (9/10)





懇親会で助成先の団体の方のお話を伺い、地域によって自治体の支援にかなり格差があり、金銭的に大変苦労されていることがよく分かりました。「助成金は本当にありがたい」と涙目でお話される方もいて、助成活動の意義を実感しました。助成金を贈呈して終わりではなく、NPO 法人設立後も継続して交流を続けていくことができれば理想的だと思います。  
 (関西第一本部総務部 藤本敬介さん、西 咲穂さん)



懇親会場の様子

07年度NPO法人設立助成 損保ジャパン記念財団

関西地区の団体への贈呈式開催

損保ジャパン記念財団(佐藤正敏理事長=損保ジャパン社長)は、2007年度社会福祉助成金として51団体(うち関西地区7団体)の障がい者・高齢者福祉団体や特定非営利活動法人(NPO法人)設立資金に合計1530万円の助成を決定したが、その関西地区の大阪府、兵庫県所在の6団体(1団体は遠方のため別途)への「NPO法人設立助成金」贈呈式が8月29日午後2時から損保ジャパン大阪ビル11階特別室(大阪市中央区)で行われた。当日は大阪府所在の3団体、兵庫県所在の2団体から12人、贈呈側から岡田正損保ジャパン関西総務部長、松田剛総務課長、富沢泰夫損保ジャパン記念財団事務局長が出席した。

5団体から12人出席 法人目指す

贈呈に当たって主催者側の岡田関西総務部長は、「30年前の1977年に社会貢献活動の一環として記念財団を設立した。99年に非営利活動推進の法律ができた時にNPO設立資金助成をするようになった」と記念財団の経緯を述べるとともに、「本年度は112団体からの応募があり、最終的に51団体に助成をした。関西地区の大阪府、

兵庫県では7団体に助成することになり、本日は5団体の方々の出席を得た。法人になって各地域で立派な活動を続け地域貢献に努めていただきたい」とあいさつした。

富沢記念財団事務局長は、損保ジャパン記念財団を紹介した後、本年度の応募の傾向や特徴、選考について説明、99年度から実施したNPO法人設立資金助成について、



岡田氏



富沢氏

「本年度で9回目を迎え、9年間の助成金累計は739団体、合計2億2000万円、法人化率は94%となっている」と紹介。また助成金の特徴として「1件30万円で申請の書式は書きやすく簡便なNPO法人化検討段階からの申請も可設

立するための費用なら金の使い方を制限しない」とした上で、「それぞれの地域で推進役になるような活動を期待している」と祝辞を述べた。

決定通知書の交付は岡田総務部長からそれぞれの団体の代表者に手渡された。



団体代表者に決定通知書を手渡す岡田氏

NPO法人設立資金の贈呈を受けた各団体関係者は次のように喜びを語った。

「神戸の北区で夕食向けの総菜販売・配達による就労支援、日常生活支援を行うために立ち上げたが、ゼロからのスタートで今回の助成は非常にありがたい」(間狩光恵 NPO法人なのはな設立準備会おぼんさい菜代表 ||神戸市)

「資金がないために牛乳パックを集め市へ持ち込み助成をいただいている状態で大いに助かる」(黒岡恵子知的障害児の明日を考える会チャイルズ||大阪市)

「障がい者と健常者が共に働くことを考え、まずNPO法人組織にする。この助成を得たことで喜びをかみしめている」(松枝克子ハンディキャップド コミュニティイ カフェ ミロー代表 ||大阪市)

「障害者自立支援法ができた時、続けられるかどうか不安だった。このような中で、福祉新聞に助成のことが載り応募した。頑張るきっかけになった。有効に使わせていただく」(松浦章子ヒマワリホーム福祉作業所代表 ||門真市)

「地域生活支援事業、介護保険法等に基づき居宅サービス事業・交流の場づくりの事業を通して生活から就労に至る一貫した取り組みを目指す。この助成を機に一流のパン屋として頑張る」(野口智誠運営委員会つながり ||西宮市)。

損保ジャパン記念財団は2日、柳井市の福祉作業所「やなぎ園」にNPO法人設立資金30万円を助成した。

下関市豊前田町の損

### ◆福祉作業所法人取得へ助成金

保ジャパン山口支店で贈呈式があり、西村二三枝園長が受け取った。やなぎ園には20～60代の知的障害者14人が通所しており、NPO法人の認可を県に申

請中。西村園長は「改めて気を引き締めて運営に頑張りたい」と話していたという。

障害者自立支援法で法人格がないと補助金

や行政からの事業委託を受けられないなどの事情があり、法人格取得を目指す福祉団体が増えている。財団は今回、全国51団体に助成した。

16. 毎日新聞 (8/3)



柳井市福祉作業所やなぎ園の西村二三枝園長をお迎えし、贈呈式を開催いたしました。松村山口支店長より決定通知書を手交させていただき、西村園長よりご挨拶いただきました。贈呈式終了後は、西村園長を囲み、やなぎ園の事業内容について詳しくお伺いいたしました。西村園長のお話では、やなぎ園で最も尽力されていることは、作業所の方々が少しでも自立できるようになることであり、その結果、数名の方が一般企業に就職されたともお伺いしました。NPO法人設立にあたり、更に作業所の方々が活動の場を広げられるようにしたいとこのことです。

(山口支店 伊藤 晋さん、  
長野 由喜子さん)



17. 徳島新聞 (8/7)

### NPO法人化の 2団体に助成金

損保ジャパン

損保ジャパン記念財団(東京)は6日、障害者地域共同作業所「アスカ」(阿波市)と、徳島県聴覚障害者福祉協会(徳島市)の二団体に、NPO法人化を支援する新設助成金三十万円ずつを贈った。

徳島市内の同社徳島支店で贈呈式があり、アスカの福井公子運営委員長と、同協会の平光江会長が出席。損保ジャパンの円岡純一徳島支店長から助成決定通知書を手渡されると、それぞれ「地域に根差した活動ができるよう役立てたい」(福井運営委員長)、「二〇一〇年に徳島である全国ろうあ者体育大会に向けて頑張りたい」(平会長)と語った。

同財団は年一回、全国の障害者・高齢者福祉団体に助成していて、本年度は五十一団体に各三十万円を贈る。

## 福祉施設に 60万円贈呈

損保ジャパン記念財団  
 損保ジャパン記念財団  
 (理事長・佐藤正敏損害  
 保険ジャパン社長)は二  
 十八日、高松市の小規模  
 作業所ほつとハウス(小

18. 四国新聞 (8/31)

林章伸(所長)とボランテ  
 イアサークルメロデー  
 (野村英司代表)にNPO  
 O法人設立の助成金とし  
 て計六十万円を贈呈し  
 た。

助成金は社会福祉貢献  
 活動の一環で、障害者・  
 高齢者福祉団体を対象  
 に、今年で九回目となる。



目録を受け取った代表  
 者と田村支店長(右端)  
 高松市相屋町、損害  
 保険ジャパン高松支店

全国五十一団体に千五百  
 三十万円の助成を行う。  
 同市紺屋町の損害保険  
 ジャパン高松支店で行わ  
 れた贈呈式では、同財団  
 を代表して田村康弘支店  
 長が「地域の社会福祉の  
 向上に役立ててくださ  
 い」とあいさつ。小林  
 所長らに目録を手渡し  
 た。



19. 高知新聞 (8/28)



### ■NPO設立で助成金

損保ジャパン記念財団  
 (佐藤正敏理事長)はこの  
 ほど、高岡郡栲原町と土佐  
 市の2団体に、NPO法人  
 設立助成金を贈ることを決  
 めた。

同財団は、全国の民間福  
 祉活動を推進するために、  
 平成11年から助成を実施。  
 19年度は、全国51の障害  
 者、高齢者福祉団体に助成  
 (1件30万円)。本県から  
 は、栲原町川西路の共同作  
 業所、「竹ぼうきの会」と  
 土佐市蓮池の「日本自閉症  
 協会高知県支部」が選ばれ  
 た。29日に高知市本町2丁  
 目の損害保険ジャパン高知  
 支店で贈呈される。

## NPO法人設立資金助成金贈呈式 (財)損保ジャパン記念財団



20. 高松支店の贈呈式の様子



今回は初めての試みで、福岡県の対象7団体、北九州から2団体を九州本部の福岡ビルのお呼びし、贈呈式を開催しました。  
 来賓に福岡市 NPO ボランティア交流運営協議会委員長など幅広くご活躍されている福岡大学経済学部教授・東京大学博士の山崎さんにおいでいただき、ご講演をいただきました。  
 助成先の団体の方々から山崎教授の講演に勇気が沸き、また、他の方々に会えて仲間ができたとの声が聞かれ、皆様大変喜んでおられました。  
 (九州業務部総務課 初 洋子さん)

21. 西日本新聞社 (7/28)

**NPO設立に30万円**  
 福岡の7団体に助成  
 損保ジャパン財団  
 財団法人「損保ジャパ  
 ン記念財団」(東京)は  
 二十七日、特定非営利活  
 動法人(NPO法人)の  
 設立資金として、福岡市  
 南区の「ともとも福祉作  
 業所」や福岡県筑前町の

共同作業所「みるくはう  
 す」など、同県内七つの  
 福祉団体に各三十万円を  
 贈った。  
 福岡市博多区の損保ジ  
 ヤパン福岡ビルで贈呈式  
 があり、損保ジャパンの

同財団は全国の福祉団  
 体に助成金を贈っており、  
 今年度は五十一団体が  
 対象。九州では福岡県の  
 ほか、長崎県や熊本県な  
 どの四団体に贈る。



福岡大学経済学部教授・東京大学博士 山崎氏

22. 長崎新聞 (8/14)

**NPOに30万円寄贈**

「損保ジャパン」自立生活支援の会に  
 記念財団  
 損害保険ジャパン(本  
 社東京)が設立した損保  
 ジャパン記念財団(佐藤  
 正敏理事長)は十日、特  
 定非営利活動法人(NPO  
 法人)自立生活支援の会  
 (長崎市、竹田正幸理事  
 長)に三十万円を贈った。  
 同財団は民間の福祉活  
 動推進のため一九九九年  
 に設立し、社会福祉団体  
 への助成などをしてき  
 た。本年度は全国の五十  
 一団体に、設立資金とし  
 て計千五百三十万円を贈  
 った。県内では、障害者や  
 高齢者の自立支援などの  
 活動を目的として、NPO  
 法人の認証を六月に取  
 得した同会が選ばれた。  
 長崎市網場町の同会事  
 務所であった贈呈式で、

損害保険ジャパン長崎支  
 店の藤田淳支店長(右)か  
 ら目録を受け取った竹田  
 立ち上げたので、頑張り  
 理事長(左)は「感謝の気  
 たい」と述べた。



藤田支店長(左)から目録を受け取る竹田理事長  
 「長崎市、「自立生活支援の会」事務所